

# 七よやま

No. 152  
議会だより  
3月定例会



はいっ ポーズ

(関連記事P16)

## 令和2年度キラメキ新規事業 P2・3

令和2年度予算 ..... P4・5

質疑あれこれ ..... P6～8

5人が一般質問 ..... P10～15

翔びたて豊山っ子! ..... P16

<https://www.town.toyoyama.lg.jp/>

町のホームページから  
会議録がご覧いただけます

町議会 をクリック



# 令和2年度 キヨメキ新規事業



## 町内 ホームステイ事業

60万円

米国ワシントン州グラント郡からの留学生6人を受け入れ、町内家庭でのホームステイを行う。

新規事業

3月定例会

質疑・討論

一般質問



## 中学生海外派遣事業

553万円

米国ワシントン州グラント郡との姉妹都市提携により、中学生6人を派遣し友好を深める。

◎万円で端数調整をおこなっています。



## 観光PR動画作成

385万円

町の魅力を全国に発信する観光プロモーション動画を作成する。



## 保育園のオムツ回収委託

73万円

保護者の負担を考慮し、紙オムツを町で処分する。



## 安全運転支援装置の設置補助

160万円

65才以上の方に、アクセルとブレーキの踏み間違いを防止する装置の設置費用を補助。



## 給食調理の委託

6217万円

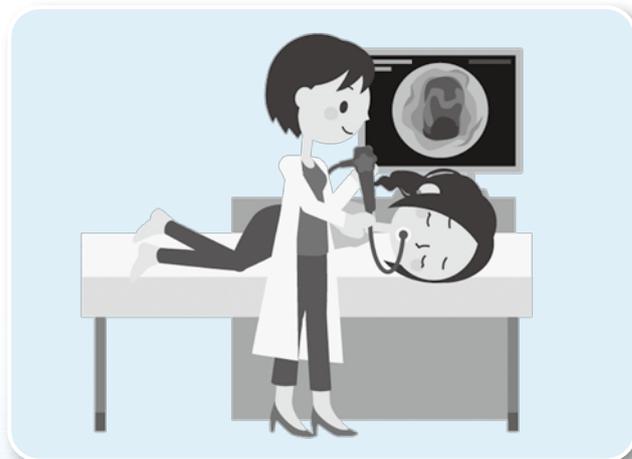
学校給食の調理を民間に委託する。



## 議会タブレット導入

270万円

議会にタブレットを導入し、開かれた議会を目指す。



## 胃カメラ検査

169万円

胃ガン検診に胃カメラ検査を追加する。

# 身近な施策を充実

令和2年度  
一般会計  
予算

賛成7 反対1 認定

予算額 77億4400万円

3月  
定例会の  
あらまし

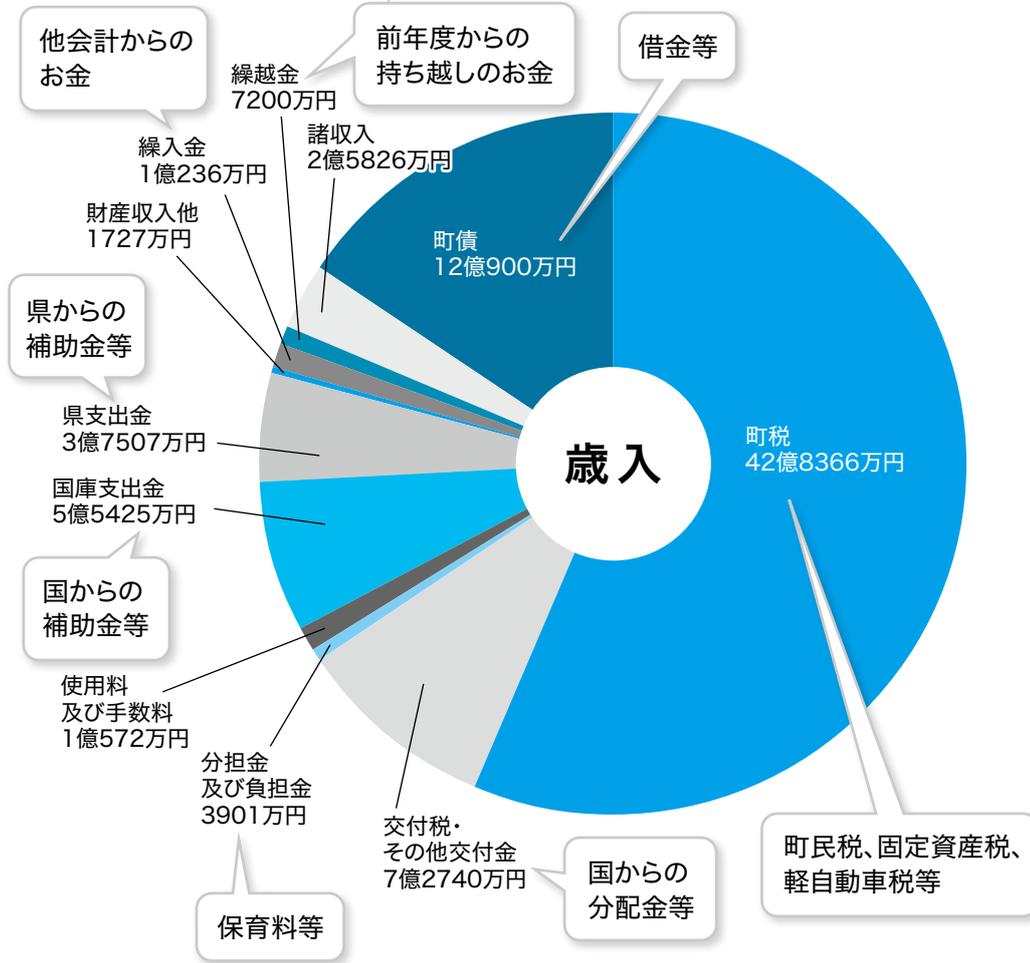
令和2年第1回定例会が3月2日から17日まで開かれました。専決処分の承認案件1件、令和2年度の一般会計予算をはじめ、5つの特別会計予算、補正予算、副市長の選任など25議案が上程されました。令和2年度の一般会計予算については原案に附帯決議を付して可決。ほかは原案通り可決しました。また、国に対し「新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める意見書」を提出することを可決しました。

新規事業

3月定例会

質疑・討論

一般質問



## 特別会計 予算状況

会計名	予算額
国民健康保険	14億1806万円
後期高齢者医療	2億4136万円
介護保険	9億6846万円
介護サービス事業	380万円
公共下水道事業	8億4413万円

◎万円で端数調整をおこなっています。

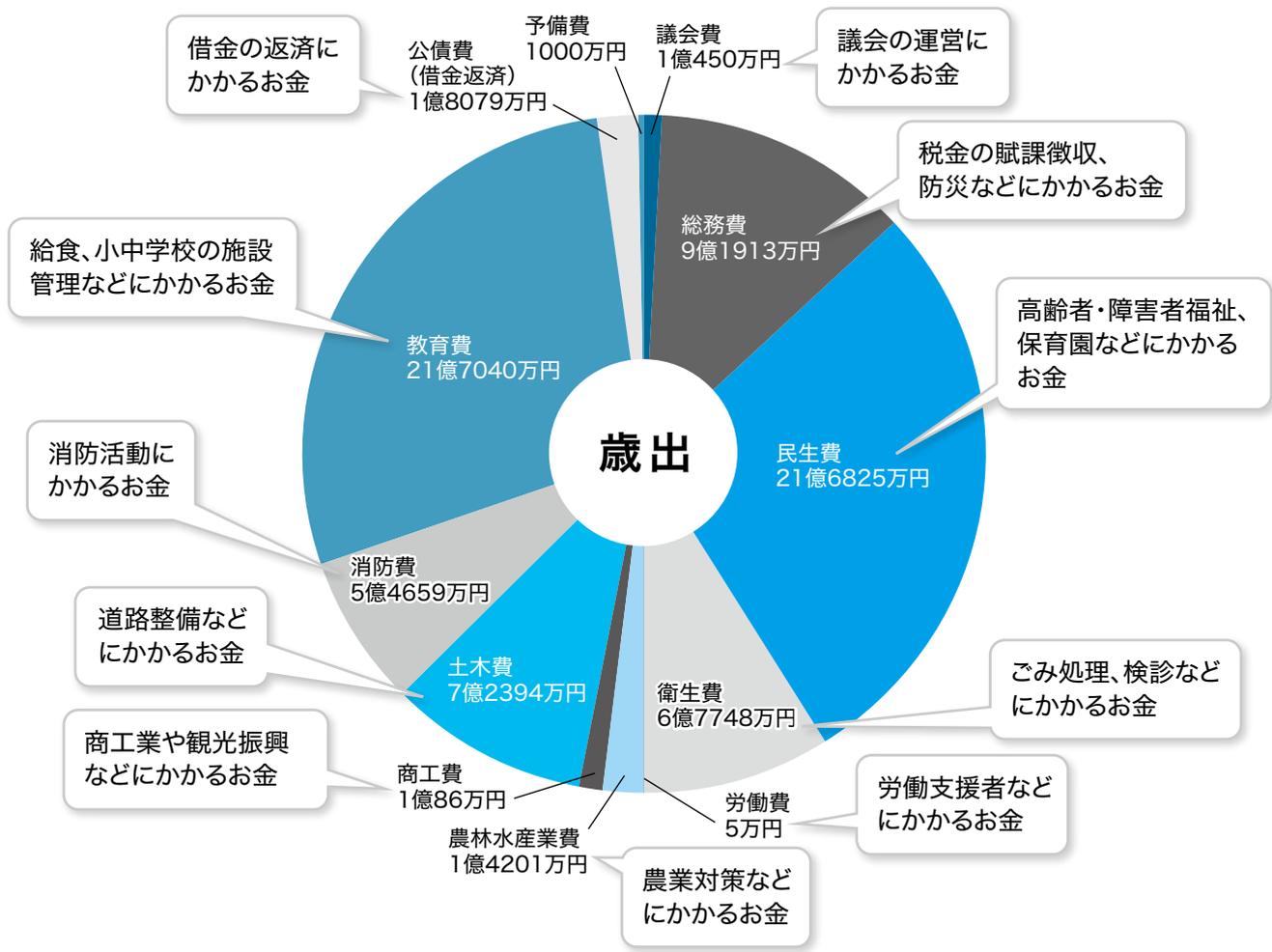
# 福祉、教育、防災、暮らしに

新規事業

3月定例会

質疑・討論

一般質問



## 令和2年度におこなう主な事業

- 下水道の普及・整備 …… 5億7340万円  
(東栄地区を中心に工事を実施)
- ゴミ処理事業 …… 3億3340万円  
(北名古屋清掃工場が7月に稼働予定)
- とよやまタウンバス運行事業 …… 3427万円  
(バス車両1台分の更新費を含む)
- 防犯カメラ設置補助金 …… 100万円  
(自治会設置カメラの補助)
- 安心・安全な学校給食の提供 …… 10億4972万円  
(新給食センターの建設工事 9月供用開始予定)
- 学習環境の整備 …… 4914万円  
(豊山スカイプールのプールサイド改修工事)
- 町民意識調査事業 …… 220万円  
(16才以上の町民2000名を対象に実施)



## 令和元年度補正予算

一般会計	72億8193万円 (2億8884万円減額)
後期高齢者医療特別会計	2億1719万円 (144万円減額)
介護保険特別会計	9億3792万円 (1537万円追加)
公共下水道事業特別会計	6億5940万円 (2294万円減額)

令和2年度一般会計予算

〈総務費〉

問 町民意識調査事業とは。

答 第5次総合計画の各種事業を町民意識調査により、効果を把握し反映させたい。町内在住の16歳以上の2000名が対象で毎年実施する。

問 防犯カメラ設置費補助金の内容は。

答 犯罪発生抑制を図り、自治会が必要とする防犯カメラの設置費用の2分の1、20万円を上限とする補助制度である。



問 国際交流推進事業と町内ホームステイ事業とは。

答 サポーター制度を始めるとして、将来的に国際交流に関心の高い人材を育て、グラント郡に限らず町全般の国際交流事業などに活動の幅を広げていきたいと考えている。内容は①グラント郡か

らの派遣学生6人を受け入れる

②町内および近隣市町村の見学、日本文化の体験、中学生との交流を実施する③ホストファミリーを町内で幅広く募集し、派遣学生に日本での家庭生活を体験してもらう、以上3点を予定している。

問 とよまDOEないと運営事業の具体的な日時、予備日などは。

答 実行委員会は、7月25日(土)開催、予備日は翌26日(日)を検討している。また、暑さ対策のため開場時刻を検討中である、と聞いている。



問 タウンバスの買替にあたり、車の耐用年数は。

答 5年を償却期間としている。車両購入にかかる費用を減価償却期間の5年間負担する。

〈民生費〉

問 認知症高齢者等損害補償事業の補償金の上限額はいくらか。

答 1億円である。

問 なかよし会利用料のコンビニ収納の実施は。

答 令和3年度から実施する予定。令和2年度はそのためのシステム改修を行う。

〈衛生費〉

問 犬のふん害対策のイエローチョークとは何を指すものか。

答 犬のふんを黄色のチョークで囲い、日付を書くことで、放置した飼い主に、迷惑をこうむっている人がいることを伝えるものである。

犬のフンは持ち帰りましょう



〈農林水産業費〉

問 用排水路改良工事において、令和元年度60m程度しか改良されていない。車の駐車によって破損しているため、早急に改良する必要がある。補助金を活用して行うことは大事だが、町税を投入して整備するべきではないか。

答 農業施設の改修は、従来より県の補助金を活用して実施している。

指摘のあった水路は、優先的に整備するよう、令和元年度からかんがい排水事業に位置付けて約60mの整備が完了した。残りの区間も、補助金の範囲内で整備を進める。



質疑あれこれ



〈商工費〉

問 産業観光推進事業のドライブスタンプラリーとは何か。

答 JAF(日本自動車連盟)が実施するもので、二つのスポットとして航空館boonを登録する。

〈土木費〉

問 青山地区の大山川堤防道路整備では、地域住民の理解が得られるよう進めていくべきである。人と車の交差点については、安全対策が必要ではないか。

答 地域住民の方に十分に理解が得られるよう進めていきたい。

附帯決議

大山川堤防道路の整備について

① 地域の住民の十分な理解を得て進めること。

② 歩行者・自転車と車の交差点において安全対策を講じること。

以上 決議する。

〈消防費〉

問 防災意識の啓発事業で、食糧費が増えている理由は。

答 備蓄目標を1300人の3食3日分(1万1700食)とし、令和2年度から4力年かけて備蓄食料の増量をこなす。



問 子供用のマスクやおむつ、生理用品などを町の備蓄品目に追加していく考えはあるか。

答 備蓄するべき品目であると認識している。どのような品目がどれだけ必要なのか、備蓄スペースや期限を超過したものの使用方法など検討中。

〈教育費〉

問 中学生海外派遣事業での選出方法は。

答 豊山町内在住の中学生を、学年を問わず公募する。豊山町を代表して派遣される訪問団員であることを十分理解して行動できること、現地ホームステイができるなど心身ともに健康で協働性があること、保護者とともにグランド郡交流サポーターとして国際交流の活動等に積極的に協力できることなど、いくつかの応募条件を考えている。選考にあたっては、公平性、透明性の確保に努めたこととしている。

問 新給食センターの適正な運営事業で、調理業務を直営から民間にした理由は。

答 直営による数多くの経験と技術を活かしつつ、豊富な実績のある民間業者が持つノウハウ(新しい調理方式での安定した運用方法、食物アレルギー対応、食育について多くの助言)を活用することが最大のメリットである。

問 文化振興事業運営費補助金で、豊山町にも中学校吹奏楽部のOBや住民で構成する楽団を設立してはどうか。

答 豊山町の文化芸術の振興を通じて、地域の担い手を育成するとともに、若い人からお年寄りまで男女を問わず一緒に集い楽しめる場を設けるため、豊山町オーケストラ(仮称)を設立することを目指し、その設立に向けた調査研究を令和2年度実施する予定である。





# 質疑あれこれ

## 施政方針（抜粋）

令和2年度から第5次総合計画期間がスタートします。これまでのまちづくりで実現したにぎわいの維持・向上を目指すとともに、町民の皆様方、お一人お一人が健康で安心して日々の生活を送られ、生涯を通じて生きがいを持っていきいきと過ごすことができるまちを目指してまいります。この実現に向け、福祉、教育、防災など、暮らしに身近な施策のさらなる充実を図ってまいります。

令和2年度予算は、本町が10年後、20年後、そして50年後、輝き続けるための第一歩を力強く踏み出すためのものであります。新しい未来を築くためには、様々な「壁」に挑戦しなければなりません。そして「壁」を乗り越えた先に、新たな豊山町の明るい未来が待つとある。そう信じて、これからの豊山町を担う子どもたちのためにも、私は全力で町政運営に取り組んでまいります。

新規事業

3月定例会

質疑・討論

一般質問

### 町長の施政方針を問う

**問** 一人ひとりが輝く暮らし豊かなアーバンビレッジの実現を目指すうえで、町長が考える暮らしを豊かにする施策はどれか。また、暮らしの豊かさとは何か。

**答** 福祉、教育、防災など暮らしに身近な施策のさらなる充実と力点を置いて編成を行った。これからの時代において大切なのは、一人ひとりの生き方が尊重され、誰もが心の豊かさを実感できる社会だと考えている。

幸福を感じる時間や場所が至るところにあり、そして互いが支えあうことができる町、そのような町が暮らしの豊かさを実感できる町だと考えている。

**問** 県が検討している新防災拠点への町の具体的な取り組みは何か。

**答** 県の動向を見極めつつ、町民の皆様に必要な避難所、備蓄倉庫の整備など、取り組むべき防災機能の強化を着実に進めていく。

**問** 大山川右岸の歩道整備は令和2年度末の供用開始を目指すのではなく、新防災拠点の方向性が決まるまで見送る判断をしていますが、どうか。

**答** 県が本町を新たな防災拠点の候補地として位置付けていることは承知しているが、計画の内容が決まっていない。

大山川堤防道路事業は、歩行者の安全確保が十分できていないことから、道路線形や構造を再検討してきた。

しかし、住民説明会で安全対策が不十分、住民の意見が尊重されていないなどの意見をいただいた。工事執行の際は、更なる安全対策を講ずるとともに改めて説明会などを開催し、住民の皆様から意見をいただき進めていく。



**問** 北部市場との関係性を活かした、まちのにぎわいづくりについてはどう考えているのか。

**答** 本町を活性化し、にぎわいをもたらす重要なコンテンツの一つである。

周辺の関連事業所と体となった流通の拠点として「食」を通じた交流拠点として活性化を図っていく。



**問** 土地の狭い豊山町に新たな公園の整備は、本当に必要で可能なのか。防災ベンチなどを兼ね備えた防災公園のような場所を想定しているのか。

**答** 新たな公園設置はかなり難しいと考えている。整備計画を策定する意図は、町民一人当たりの公園面積が少ない現状をどうするか検討するためである。



町のホームページに町長施政方針全文を掲載しています。

<https://www.town.toyoyama.lg.jp/>



# 賛成討論 VS 反対討論

## 令和2年度豊山町一般会計予算

賛成



### 長期戦略を意識した 予算編成

岡島政信 議員

新年度予算では、新給食センターの建設をはじめとする教育環境の充実、認知症高齢者損害補償事業、防犯カメラ設置費補助金の新設、胃内視鏡検査の実施や高齢者への自動車の安全利用対策として急発進抑制装置購入時の補助制度創設といった町民の生活に直結する事業についても積極的に予算化されている。

まちの将来を見据えた長期戦略を意識した行政運営を遂行するための予算編成となっている。

附帯決議が付されたが、以上のことから賛成する。



反対

### まちの将来像と逆行

山本亮介 議員

国保会計への繰出金が昨年よりも削減され、国保料の均等割額が引き上げられる。均等割額の引き上げは国保加入の低所得世帯や子供が多い世帯に大きな負担となる。「一人一人が輝く暮らし豊かなアーバンビレッジ」とは逆行するのではないか。

また、新給食センターの調理業務の民間委託は、安い賃金、不安定な雇用でパート社員が定着しなかったりするなど、全国の例を見る限りは、その疑念を払しょくすることはできない。

## 審議結果

議案	審議結果
専決処分の承認	全員賛成承認
工事請負変更契約の締結	全員賛成可決
副町長の選任(鈴木邦尚)	賛成8反対1同意
固定資産評価審査委員会委員の選任(岡島敬司)	賛成8反対1可決
固定資産評価審査委員会委員の選任(水野浩)	賛成8反対1可決
町道路線の認定	全員賛成可決
印鑑条例の一部改正	全員賛成可決
監査委員に関する条例の一部改正	全員賛成可決
固定資産評価審査委員会条例の一部改正	全員賛成可決
職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正	全員賛成可決
議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	全員賛成可決
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	全員賛成可決
国民健康保険税条例の一部改正	賛成7反対1可決
手数料条例の一部改正	全員賛成可決
令和元年度一般会計補正予算(第5号)	全員賛成可決
令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	全員賛成可決
令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	全員賛成可決
令和元年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	全員賛成可決
令和元年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	全員賛成可決
令和2年度一般会計予算	賛成7反対1可決
令和2年度国民健康保険特別会計予算	賛成7反対1可決
令和2年度後期高齢者医療特別会計予算	賛成7反対1可決
令和2年度介護保険特別会計予算	全員賛成可決
令和2年度介護サービス事業特別会計予算	全員賛成可決
令和2年度公共下水道事業特別会計予算	全員賛成可決
令和元年度一般会計補正予算(第6号)	全員賛成可決
新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める意見書	全員賛成可決
議案第19号令和2年度一般会計予算に対する附帯決議	全員賛成可決

※議長は、議決には加わりません。町道路線の認定以下は8名での議決です。(欠席者1名)

一般質問  
ラインナップ

# あなたの思い、議会へ

一般質問とは、町が行っている事業や計画について議員が住民に代わって質問したり要望を伝えたり、今後の町のあり方について議論、提言することである。

3月9日(月)5人が質問に立った。

一問一答方式で、制限時間は答弁を含み1人60分。

議会だよりには、太字のみ掲載

1	柴田 賢一	<ul style="list-style-type: none"><li>●公共交通の構想</li><li>●公用車の買替</li></ul>	P.11
2	坪井 孝仁	<ul style="list-style-type: none"><li>●豊山町の公共交通について</li><li>○豊山町の環境美化について</li><li>○新型コロナウイルスについて</li></ul>	P.12
3	作野 桂子	<ul style="list-style-type: none"><li>●SDGs(持続可能な開発目標)と環境への取り組みについて</li><li>●ユニバーサル(みんなが食べられる)給食について</li></ul>	P.13
4	岡島 政信	<ul style="list-style-type: none"><li>●引きこもりへの支援策について</li><li>●18歳以下の子どもへの医療費について</li></ul>	P.14
5	山本 亮介	<ul style="list-style-type: none"><li>●ヒコーキの聖地化と神明公園・航空館boonの役割</li></ul>	P.15

◎大口司郎議員、坂田芳郎議員は一般質問の通告をしていましたが、町の新型コロナウイルスに対応する時間を考慮し、通告を取り下げました。

◎全文記録(議事録)は、6月上旬に町ホームページに掲載しますのでご覧ください。



しばたけんいち  
柴田賢一 議員

SHIBATA Kenichi

# Q. 買替基準無視の黒色町長車は

## A. 私の裁量で購入した

鈴木前町長が行った町長車の改革に対して、服部町長が方針転換した政治判断を問う。

**Q** 公用車の買替は、どのような手続きで行うのか。

総務部長

**A** 買替基準により必要性を判断し予算を要求する。その後、査定、裁定、議会承認後予算化、購入の手続きとなる。

**Q** 買替基準は明文化されたものか。また、車種選定はどのように行われているか。

総務部長

**A** 5年が経過した車両について、10万キロメートルを超える、または、故障の頻度の高いものなどの基準を、決裁による内部基準としている。  
買替の車種選定は、原則として従来の車種とする。



▲問題の黒色町長車  
(同型車)

**Q** 町長車が白色エスティマから黒色エスティマに変更されているが、それぞれの購入日は。また、黒色エスティマを購入時の白色エスティマの走行距離は。

町長

**A** 白色エスティマの購入日は平成23年8月29日、黒色エスティマの購入日は平成29年6月15日である。

黒色エスティマ購入時、平成29年6月末時点の白色エスティマの走行距離は3万5536キロメートルである。

**Q** 公用車の買替基準を満たしていないにも関わらず、町長車を新しく購入するという政治判断は、どのようになされたのか。

**A** 町長 青色エスティマハイブリッドの買替対象としてフリードが、出されていたと記憶している。

その際、私の裁量で白色エスティマハイブリッドをその代替えとして供用車に配備し、新たに黒色エスティマハイブリッドを町長車として購入したものである。

# Q. 上小田井駅からの市バス延伸

## A. 利便性向上に努める

新ごみ焼却施設の余熱を利用する温水プールや、県の構想である防災拠点への公共交通に対する町の意気込みを問う。

**Q** 最新式の焼却施設の一般見学や、現在計画中である温水プールへの町民の公共交通について検討をしているか。

**A** 建設部長 建設予定の温水プールについては数年後のオープンを目指し、現在、設計が進められている。プールの運用方法、利用者見込がこれから決まるが、公共交通については、それらを踏まえ検討していく。

**Q** 上小田井からの市バス延伸ルート構想について取り組む意欲はあるか。

建設部長

**A** 上小田井からの市バス延伸ルート構想は、大変示唆に富んでいるものと捉えている。公共交通は、町民が関心を寄せる本町の重要課題である。引き続き町全体のバス路線の拡充を目指し、公共交通の利便性向上に努めていく。

**Q** 県が整備を計画している防災拠点への公共交通について、研究を始めているか。

建設部長

**A** 県の調査状況を見極めながら、公共交通の検討を含



▲上小田井駅ロータリー

新規事業

3月定例会

質疑・討論

一般質問

# Q. タウンバスの今後は

## A. 運営の安定化を目指す



つばい たかひと  
坪井孝仁 議員

TSUBOI Takahito

新規事業

3月定例会

質疑・討論

一般質問

徐々に改善が進みつつあるバス路線だが、一方では手詰まり感も否めない状況ではないか。そこで、豊山町のバス路線の現状と根本的な課題に焦点をあてながら将来的な方向性について質問する。

**Q** 名古屋空港が、県営化された平成17年当時と比べ、豊山町へ乗り入れるバス路線数は、どのように変化しているか。住民の交通手段として、便利になっているのか。

**A** 産業建設部長  
当時と比べバス路線数としては同じものの、便数は格段に充実している。町民のバス利便性は着実に向上していると考えている。



▲利用しようタウンバス

**Q** 住民は、タウンバスの利便性の向上に大きな期待を寄せている。現在のタウンバスの運行数とその利用者数はどのような状況か。

**A** 産業建設部長  
平日の運行数は北ルート(8便)、南ルート(15便)である。4年前のピーク時と比べて、昨年度の利用者数は約7万5000人で、北ルートでは微増しているが、南ルートは大幅に減少している。

**Q** あおい交通に支払う運行負担金は、今後の見込みも含め、ここ数年どのように推移しているか。

**A** 産業建設部長  
負担金の年間支払額は増加している。理由は名鉄バスの参入、あおい交通の栄便新設の影響による南ルート利用者の減少である。令和元年度はさらに減っている。負担金も増え、運行自体が厳しくなっている。次年度以降はタウンバスの車両更新もあり負担金は約3400万円の見込みである。



**Q** 運行を維持するため、現状では年間どれくらいのコストがかかり、そのうち利用者からの運賃収入でどれくらいがまかなえているのか。また、利用者一人当たり、町民一人当たりのコストはどれくらいなのか。

**A** 産業建設部長  
平成30年度のタウンバスの1年間の運行コストは、約4750万円。利用者運賃収入、町負担金、国庫補助金、人口などから算出すると、利用者一人あたり約630円の運行コストがかかっている。利用者からの運賃収入は1回平均約260円。1人当たりの運行コストの約4割は、利用者からの運賃収入である。  
そして、残りの約6割は、タウンバス利用に関わらず、町民一人当たり年間約1700円の負担である。

**Q** タウンバスは、住民にとって必要不可欠な公共交通である。しかし、今後利用者も減り続け、住民負担いゆる運行負担金が大きくなっていくことは「健全ではない」となりかねない。町は将来のタウンバスについて、どのように考えているのか。

**A** 産業建設部長  
昨今、名古屋や栄と空港を繋ぐ民間バス路線が拡充されたこともあり、本町の公共交通を包括して考えればタウンバスが果たすべき役割は変わりつつあると考える。  
次期地域公共交通網形成計画では、新車両への切り替え、ペイシシステムの導入、近隣のコミュニティバスとの接続など、町民の皆様が利用しやすいタウンバスを実現することで、利用者の増加や、運営の安定化を目指していく。また、他の民間事業者のバス路線の状況も見極めながら、タウンバスのあり方について検討していく。



さくのけいこ  
作野桂子 議員  
SAKUNO Keiko

# Q. ユニバーサル給食の実施は

## A. アレルギー対応の研究課題の一つ

現在、国民の3人に1人が何らかのアレルギーを持っておりと言われている。豊山町では食物アレルギーのある児童・生徒が2014年度21人、2019年度43人。1クラスに1人いる計算になる。

肌に触れるだけで症状が出る子は5人、給食当番ができない子は1人、机を離して食べている子は3人。肌に触れるだけでも症状が出る子にとって毎日の給食の時間が、安心して過ごせる時間ではないことが簡単に想像できると思う。

食物アレルギーのある児童・生徒がたくさんいる中「アレルギーのある子どもたちが特別」で「その子どもたちのみへ、特別な給食をどう提供するか」という考え方から「みんなと一緒に食べられる給食」を考えていくべきときが来ていると感じている。

昨年10月に東郷町で、児童・生徒のアレルギーの原因となる食品を全て取り除いた給食（ユニバーサル給食）が

実施された。今後も各学期に1回以上実施される予定となっている。



▲みんなが食べられる給食を

**Q** ユニバーサル給食についてどう考えるか。豊山町でも実施を検討してはどうか。

**A** 教育委員会事務局長  
アレルギーの有無に関わらず、児童・生徒が同じ給食を食べることができると定評の評価ができる。ただし、最優先すべきは安全の確保である。ユニバーサル給食は今後のアレルギー対応に関する研究課題の一つと考えている。

# Q. リユース食器の導入は

## A. 調査研究していく

**Q** 一般廃棄物処理基本計画には「さらなるごみ減量に向けて、適正な処理料金の導入を検討します」と明記された。全国の事例でも、確かにごみ処理手数料の有料化はごみ減量につながっているが、他の施策で実現することは難しいのか。

**A** 生活福祉部長  
国においても、廃棄物処理法に基づく基本方針を改定し、有料化の推進を図るべきとの方針を打ち出している。

しかし、ごみ処理費の有料化の導入は住民にその費用の一部を負担していただくものであり、他の施策を十分に実施した後に検討する。

まずは、紙や容器包装プラスチックなどの資源の分別を進め、ごみ処理費用を分かりやすく周知し、ごみ減量に努める。

**Q** 環境フェスティバルで、箸や食器の持参を呼び掛ける、もしくはリユース食器を導入するなどの対策を考えたはどうか。

**A** 生活福祉部長  
ごみの排出抑制は基本施策の一つである。環境フェスティバルの実施にあたり、当日排出されるごみの抑制や再利用はひとつの課題でもある。今後、リユース食器の導入も含め、先進事例を調査研究していく。



▲環境に配慮したイベントに

新規事業

3月定例会

質疑・討論

一般質問

# Q. 8050問題の対策は



おかじままさのぶ  
岡島政信 議員

OKAJIMA Masanobu

# A. こころの健康推進室を案内する

8050問題である中高年の引きこもりについて、今から対策を進める必要性を強く感じたので質問する。

**Q** 小・中学校の不登校の児童生徒への対応は。

**A** 教育委員会事務局長  
学校では、本人や保護者との関わりが持てる機会を大切にしている。不登校の児童・生徒に対して、早期から心のケアを図る。また、状況に応じて適応指導教室を紹介し、居場所を提供しつつ、自立を促している。さらに令和2年度からスクールソーシャルワーカーを配置し、児童・生徒の置かれた様々な環境に働きかけを行い、支援する体制の整備をする予定である。

**Q** 中学校卒業後の引きこもりについての相談窓口は。

**A** 生活福祉部長  
福祉課や保健センターで相談を受ける。また必要に応じて県の相談窓口を案内する。



8050問題をどのような考えとするのか。

**Q** 8050問題は、50代の子どもを80代の親が養うことによる問題である。引きこもりの子どもは、社会との接点を持たないため、親が病気や要介護状態になっても誰にも助けを求めることができず、親子共倒れになるリスクがあり、今後懸念される問題であると認識している。

**A** 生活福祉部長  
8050問題の相談窓口を開設してはどうか。

**Q** 引きこもりの相談内容は、経済的な面や精神的な面などがあり、専門職員のサポートが必要であるため、県の専門の相談窓口を案内している。町への相談件数は年1、2件であり、現行体制で十分と考える。

18歳以下の医療費無償化の調査を深めていくと、無償化や補助を考えている自治体が増加していた。

**Q. 18歳以下の医療費無償化は**

**A. 県内の状況を踏まえ検討する**

**Q** 16歳から18歳までの人数は。

**A** 生活福祉部長  
令和2年3月1日現在で450人である。

**Q** 無償化した場合の課題は。

**A** 生活福祉部長  
対象を18歳までとした場合、就労者と学生が混在し、一律18歳までとするか、対象世代に所得制限を設ける必要があるかなどの課題がある。



どれだけの予算が必要か。

**Q** 平成31年の場合で試算すると、一年間の医療費約1500万円、システム改修費等約500万円。計約2000万円が必要である。

**A** 生活福祉部長  
18歳以下の医療費無償化は。

**Q** 18歳以下の医療費無償化は。

**A** 生活福祉部長  
県内市町村の状況を踏まえて検討する。

新規事業

3月定例会

質疑・討論

一般質問



やまもとりょうすけ  
山本亮介 議員  
YAMAMOTO Ryosuke

# Q. ヒコーキ聖地化の目的は

## A. 地域活力の向上につなげる

**Q** 第5次総合計画で示されているヒコーキの聖地化とは何か。また、その目的は何か。

**A** 産業建設部長  
町は名古屋空港とともに発展してきた。空港周辺には民間航空機の最終組立工場が立地し、古くは戦後初の国産旅客機YS-11が開発製造され、最近では国産初のジェット旅客機、三菱スペースジェットが開発が進められている。

また、名古屋空港をはじめ、あいち航空ミュージアム、MRJミュージアム、航空館boonなど、産業観光集客施設も立地している。

これら航空を中心とした産業観光資源や航空関連の企業・事業所などの集積を生かし、ヒコーキのまちをテーマにした産業観光を推進することが、ヒコーキの聖地化である。また、その目的は、継続的にぎわいの創出と地域活力の向上につなげることである。

**Q** ヒコーキの聖地化を目指すうえで、町として取り込む課題は何か。

**A** 産業建設部長  
豊山町の強みである航空を観光のテーマとして、他の地域にはないオリジナル性を前面に打ち出し、差別化を図り、より多くの観光集客につなげていくことが課題である。

ヒコーキの聖地化を進めていくうえで、神明公園・航空館boonはどのような役割を担っているのか。

**Q** ヒコーキの聖地化を進めていくうえで、神明公園・航空館boonはどのような役割を担っているのか。

**A** 産業建設部長  
町に立地する産業観光資源としてのコンテンツになりうるものと考えている。

町民討議会議で神明公園・航空館boonに対する意見が、町民から多く出されている。その意見について、どのように受け止めているのか。

**Q** 町民討議会議で神明公園・航空館boonに対する意見が、町民から多く出されている。その意見について、どのように受け止めているのか。

**A** 産業建設部長  
総合計画策定のための町民討議会議では、神明公園の「良いところ」「悪いところ」「良いところを伸ばし、悪いところを改善する方法」についてご意見をいただいた。「駐車場、プレイヤンプ場、遊具など、公園施設を充実してほしい」といった内容が多く見受けられた。

これらのご意見を真摯に受け止め、できること、できないことについて、慎重に検討を行っていきたくと考えている。

第5次総合計画では「Park-PF」(\*)の活用検討で、民間活力の活用可能性も含めて有効活用策を図ると「明記している。これまで通り、町で管理・運営をし、有効活用については難しいか。

今後、ヒコーキの聖地化を目指すうえで、魅力ある神明公園・航空館boonにしている。

今後は、ヒコーキの聖地化を目指すうえで、魅力ある神明公園・航空館boonにしている。

**A** 産業建設部長  
神明公園・航空館boonの管理運営は、住民の憩いの場として適正に維持管理していくことが必要だと考えている。

今後は、ヒコーキの聖地化を目指すうえで、魅力ある神明公園・航空館boonにしている。

今後は、ヒコーキの聖地化を目指すうえで、魅力ある神明公園・航空館boonにしている。

※Park-PFとは「公園設置管理制度」である。飲食店、売店などの公園利用者の利便性が高くなるような公募対象公園施設の設置と、その施設から生じる収益を活用して、園路、広場などの整備・改修などを一体的に行うものである。



▲ヒコーキの聖地化を目指して

## たぐさんの思い出と共に

たぐし かしろ  
立石 和柁

小学校の6年間には、たぐさんの思い出があります。特に6年生の一年間には色々な出来事があり、思い出深いです。

児童会に入り、オアシス運動など色々な活動に一生けん命取り組み事ができました。

運動会では騎馬戦の大将になり、大将戦で勝つことができました。

修学旅行では友達とご飯を食べたり、買い物をしたりして、たぐさんの時間を過ごしてきずなが深まった気がします。



中学校ではバレーボール部に入りたいと思います。勉強も部活も頑張つて、毎日楽しく過ごしていきたいです。

## 我が赤学年に栄光あれ

いしやま はると  
飯山 遼音

僕たちの卒業式は、規模を縮小して行われました。仕方ないとはいえ、少し残念です。



(ある意味アットホームな式だったかな?とも思っていますが)でも、式後にみんなの顔を見たら、悲しい表情をしている人はいませんでした。

きっと、これから進む道が楽しみなんだろうな。そんな風に感じました。三年間とつても楽しかったです。でも、これから高校でもっともっと楽しい生活を送つてやる。学校だけじゃない。音楽に旅行、受験で出来なかったいろんなことに、豊中で学んだすべてを活かして挑戦していこうと思います。

みんなーまたどこかで会おうな!!

## 編集委員のつぶやき

昨年の町議会議員選挙からあつという間に月日が流れ、今の議会広報編集委員会で議会広報の編集がひと回りしました。個性豊かなメンバーですが、一人一人がよりよい議会広報を目指して、一枚岩になって頑張つた一年間でした。

一年間の集大成が今回の議会広報です。これまでのコーナーのレベルアップ、新規事業の見開きコーナーなど様々なチャレンジをしました。

試行錯誤の連続ですが、みなさんが少しでも、読んでよかったと思つていただければ幸いです。

R・Y

## 表紙のコメント

2月2日に社会教育センターで文化ふおーらむが開催されました。和楽器アンサンブル・リベルタによるコンサートで、会場が一体となりました。

## 次回定例会の予定

6月 1日(月) 開会・議案説明 6月10日(水) 福祉建設委員会  
6月 8日(月) 一般質問 6月11日(木) 総務文教委員会  
6月 9日(火) 議案質疑 6月12日(金) 討論・採決・閉会

開始時間は午前9時30分から(最終日は午後1時30分から)  
議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

## 寄付行為の禁止

議員はお祭りへの寄付や町内会の催しものへ差し入れることを禁止されています。有権者が求めてもいけません。ご理解をお願いします。

## 広報編集委員

委員長 山本 亮介  
副委員長 作野 桂子  
委員 坪井 孝仁  
柴田 賢一  
岡島 剛

新型コロナウイルス感染症対策のため、事業実施について変更されることがあります。